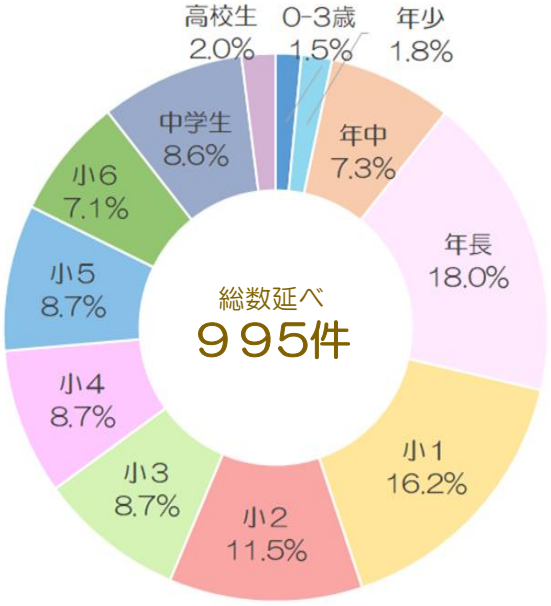
こども発達支援室だより 11月号

こども発達支援室では、こどもへの理解を深め、発達や育ちを支える環境づくりを推進しています。
今回のたよりでは、昨年度の相談状況、パーソナルファイルについてご紹介します。

令和７年度の相談状況

年齢内訳



R7年度の相談件数は995件で過去最高件数となりました。就学前の幼児が約3割、小学生が約6割となっており、前年度とほぼ同水準となっています。学年ごとにみると、年長児と小学1年生の割合が高く、就学という大きな環境変化がある時期の相談が多くなっています。前年度に比べ、小学校高学年から中学生の割合が増加しています。

相談内容は知的障がい、発達障がい（ASD、ADHD、LD）、性格行動に関する相談が７割以上を占めています。性格行動の内容は、落ち着きがない、不安が高いなどです。そのほかにも、発音などの言語発達に関する相談や日常生活での対応や学習、対人関係等の相談にも応じています。

パーソナルファイルを活用しよう

〇パーソナルファイルって？
　発達をはじめとする支援を必要とするお子さんが、安心して継続した支援を受けられるよう、お子さんの状態や支援の情報をスムーズに引く継ぐための、情報を一冊にまとめたファイルです。
　パーソナルファイルは、保護者が作成・記入し、保管します。



〇いつ活用するの？
・福祉や医療サービスを受けるとき
・進級・進学・就職など新しい環境に変わるとき
・関係機関などの相談や支援を受けるとき　等
　保護者や本人が関係する人たちに提示することで、お子さんの今までの成長や様子、支援の経過など、必要な情報を伝えることができます。情報共有がスムーズに行われると、今必要としている支援を引き続き受けることができ、周りの人や環境が変わっても安心して生活を続けることができます。

配布場所
・こども発達支援室
・高齢・障がい福祉課
・学校教育課

お問い合わせ
伊勢市こども発達支援室（伊勢市宮後1丁目１－３５　健康福祉ステーション5階）
ＴＥＬ：63-5444　　ＦＡＸ：21-0683
Email：kodomohattatsu@city.ise.mie.jp